

## 《履修証明プログラム 開講時間割表（2021年度後期9月～1月）》（予定）

■ = 実習の各コース共通科目    ■ = 講義の各コース共通科目

曜日	分野別 コース別	9:00	10:30	10:40	12:10		13:00	14:30	14:40	16:10	16:20	17:50
		1		2		昼休み	3		4		5	
月	ガラス	①ガラス・陶磁器演習Ⅲ《中級者～上級者》 [67.5時間] < 9601教室 >										
	陶芸											
	講義									②美術工芸教育論《上級者》 [22.5時間] < 1106 >		
火	ガラス	③ガラス・陶磁器演習Ⅰ《初級者》 [67.5時間] < 9601 >										
	陶芸											
	講義							④作品の見方《初級者》 [22.5時間] < 1106 >				
水	講義	⑤アート・マネジメント《上級者》 [22.5時間] < 1105 >		⑥模型・フィギュア造形論《中級者》 [22.5時間] < 8216 >								
木	ガラス	⑧クラフト実習A《初級者～中級者》 [45時間] < 9601 >										
	陶芸											
	講義					⑦現代美術《初級者》 [22.5時間] < 1225 >						
金	ガラス	⑨スケッチ・素描・イメージ《初級者》 [45時間] < 1118・1119 >										
	陶芸											

※ [ ]内の時間は、15週の総時間数です。

## 【授業内容】

①ガラス・陶磁器演習Ⅲ	※詳しい授業内容は、本学ポータルサイトよりご覧ください。 ( <a href="https://portal.kobe-du.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp">https://portal.kobe-du.ac.jp/up/faces/login/Com00501A.jsp</a> )
②美術工芸教育論	
③ガラス・陶磁器演習Ⅰ	
④作品の見方	
⑤アート・マネジメント	
⑥模型・フィギュア造形論	
⑦現代美術	
⑧クラフト実習A	
⑨スケッチ・素描・イメージ	

## 【履修コース組み立てに当たっての注意点】

- 1プログラム、120時間以上になるように授業を選択してください。授業は毎週行われ、半期期間中、15回行われます。
- 受講者は個人のレベルを、おおむね3段階《初級者》《中級者》《上級者》を目安に組み立ててください。
- 1プログラムが完了した後、続けて次のプログラムに出願することが出来ます。
- クラフトの実習は、個人単位の作業です。どの時間の実習授業を選択しても担当教員は、個人のレベルに合わせた指導を行います。
- 履修科目を登録する際に単位認定を希望する方については、プログラム修了時に審査の上、単位認定することが出来ます。なお、一度単位を認定された科目については、次年度以降に再履修しても単位認定を受けることはできません。

## 【履修モデル（参考）】

### 《初心者の方…経験のない方》

◎講義から「作品の見方」「現代美術」の2講座

◎実習から「ガラス・陶磁器演習Ⅰ」「クラフト実習A」「スケッチ・素描・イメージ」の3講座

### 《中級者…工芸系専門の高等学校または、カルチャーセンター等で実技を経験した方》

◎講義から「模型・フィギュア造形論」の1講座

◎実習から「クラフト実習A」「ガラス・陶磁器演習Ⅲ」の2講座

### 《上級者…4年制の専門大学または専門学校等で実技習得した方》

◎講義から「美術工芸教育論」「アート・マネジメント」の2講座

◎実習から「ガラス・陶磁器演習Ⅲ」の1講座